

# 第 章 動名詞

中2で to 不定詞の後に学ぶものだが、そのときはほんの初歩的なことだけで、3年の教科書には発展したものまでよく見かけるもので、不定詞と同様キチンと理解しておく必要がある。

## A. 動名詞とは？

### 1) 動名詞とは？

動詞が名詞に化けるには不定詞、つまり《to 十原形動詞》の形にすればよいことは前の章(不定詞)で学習したが、実はもう1つ、《動詞 + ing》の形でも、名詞に化けたことになる。

つまり、

I like  $\left\{ \begin{array}{l} \text{to sing.} \\ \text{singing.} \end{array} \right.$  私は歌うのが好きだ。

のように、《動詞 + ing》の形で、名詞に化けたものを、『動名詞』という。

動名詞というものを簡単に表現すれば、

《動詞 + ing》の形で、

「～すること」という意味をもち、

名詞の働きをし、

不定詞の名詞的用法と同じ働きをするものである。

### 2) 名詞の働き

ここで、名詞の働きをあらためて確認してみよう。

名詞は、次の5つの使い方がある。

主語(S)になる      Taro is busy.

補語(C)になる      He is Taro.

目的語(O)になる      I know Taro.

前置詞の目的格になる      I play tennis with Taro.

前置詞の後は、文法的に目的格と呼ばれる。

不定詞が名詞に化けた(つまり名詞的用法)場合、上の            ,            の位置に使えたが、動名詞の場合は、           ,            ,            の位置に置ける。 の使い方、つまり、前置詞の目的格としての使い方がふえた分だけ、動名詞は不定詞より名詞に近いものといえる。

それでは、それぞれの使い方を学習していこう。

## B. 動名詞の用法

### 1) 主語(S)として

【例1】 Playing the guitar is a lot of fun.      ギター弾くことはとても楽しい。  
          S    V    C

この文は、不定詞で書き換えることも出来る。

= To play the guitar is a lot of fun.

英作するとき、日本文の主語部分を正確にとらえなければならないネ。

【例 2】 テレビを見ることはおもしろい。  
「テレビを見ること」が主語だから Watching TV  
つまり、Watching TV is interesting.  
= To watch TV is interesting.

## 2) 補語(C)として

【例 1】 My work is teaching English. 私の仕事は英語を教えることです。  
S V C  
= My work is to teach English.

[注] 動名詞が補語として使われる場合、以前学習した「現在(過去)進行形」と同じ形であるが、  
進行形の ~ ing 形は『**現在分詞**』といい、動名詞とは区別しなければならない。

比較 That man is teaching English. [進行形]

【例 2】 私の趣味はギターを弾くことです。  
My hobby is playing the guitar.  
= My hobby is to play the guitar.

## 3) 目的語(O)として

中 2 では、この用法をしっかりと理解することだ。

【例 1】 I like swimming. 私は泳ぐのが好きです。  
S V O  
= I like to swim.

[注 1] 目的語としての使い方では、【例 1】のように動名詞でも不定詞でも書き表せるものもあれば、【例 2】のように動名詞でしか書き表せないものもあるし、【例 3】のように不定詞でしか書き表せないものもある。これらはすべて、述語として使う動詞によるものだ。

【例 2】 I finished reading the book. 私はその本を読み終わりました。  
× I finished to read the book.

【例 3】 私はその本が読みたい。  
I want to read the book.  
× I want reading the book.

[注 2] それぞれ、その代表的なものを表にしておこう。

動名詞だけ	finish, enjoy, stop, etc
不定詞だけ	want, wish, hope, etc
どちらでもよく、意味も同じ	like, start, begin, etc

練習問題 **1** をせよ。

#### 4) 前置詞の目的格

前置詞の後に動詞を置くときは、必ず動名詞になる。

【例 1】 彼はテニスをするのが上手です。

He is good at playing tennis.

[注 1] この用法の場合、「～すること」という意味の出ない場合が多い。

【例 2】 { Fall is a good season for reading.  
秋は読書するのに(読書するために)よい季節だ。  
Thank you for inviting me.

私を招待してくれて(招待したことのために)ありがとう。

[注 2] 連語的に覚えておいた方がよいものもある。

【例 3】 He went out without saying good-by.

彼は「さよなら」も~~言わずに~~(言うことなしに)出て行った。

《without ~ ing》で「～せずに」と覚えておけ。

[注 3] 《look forward to ~ (～を楽しみに待つ)》の to は不定詞の to ではなく、単なる前置詞であるから注意が必要(入試頻出！)。

【例 4】 I am looking forward to seeing you.

私はあなたに会えるのを楽しみにしています。

練習問題 2 をせよ。